

役場庁舎について

与謝野町庁舎統合検討委員会（答申）

平成24年11月7日

- ①将来にわたって現状のままを望む意見はなく、「**庁舎の統合を図る**」ことには**異論**はない
- ②町から示された総合庁舎を加悦庁舎とし**早期に統合する案は見直す**こと

**現在の分庁舎方式を当面継続し、
将来しかるべき時期に、町の中心地に新総合庁舎を建設する**

**現在の分庁舎方式を当面継続し、
将来しかるべき時期に、町の中心地に新総合庁舎を建設する**



10年経って当面継続しというその「当面」という時期はもう過ぎたと普通に解釈できる。

また、今が将来しかるべき時期ではないと言えず、もう既にそのタイミングに来ていると言っていい。

庁舎に関する考え方

①誰のものか

→ 職員の働き場であり、住民のための場

②何のためか

→ 住民の安心・安全、住民福祉の増進を図る拠点

③どのように進めるのか

→ 住民参加（やり方はいろいろある）

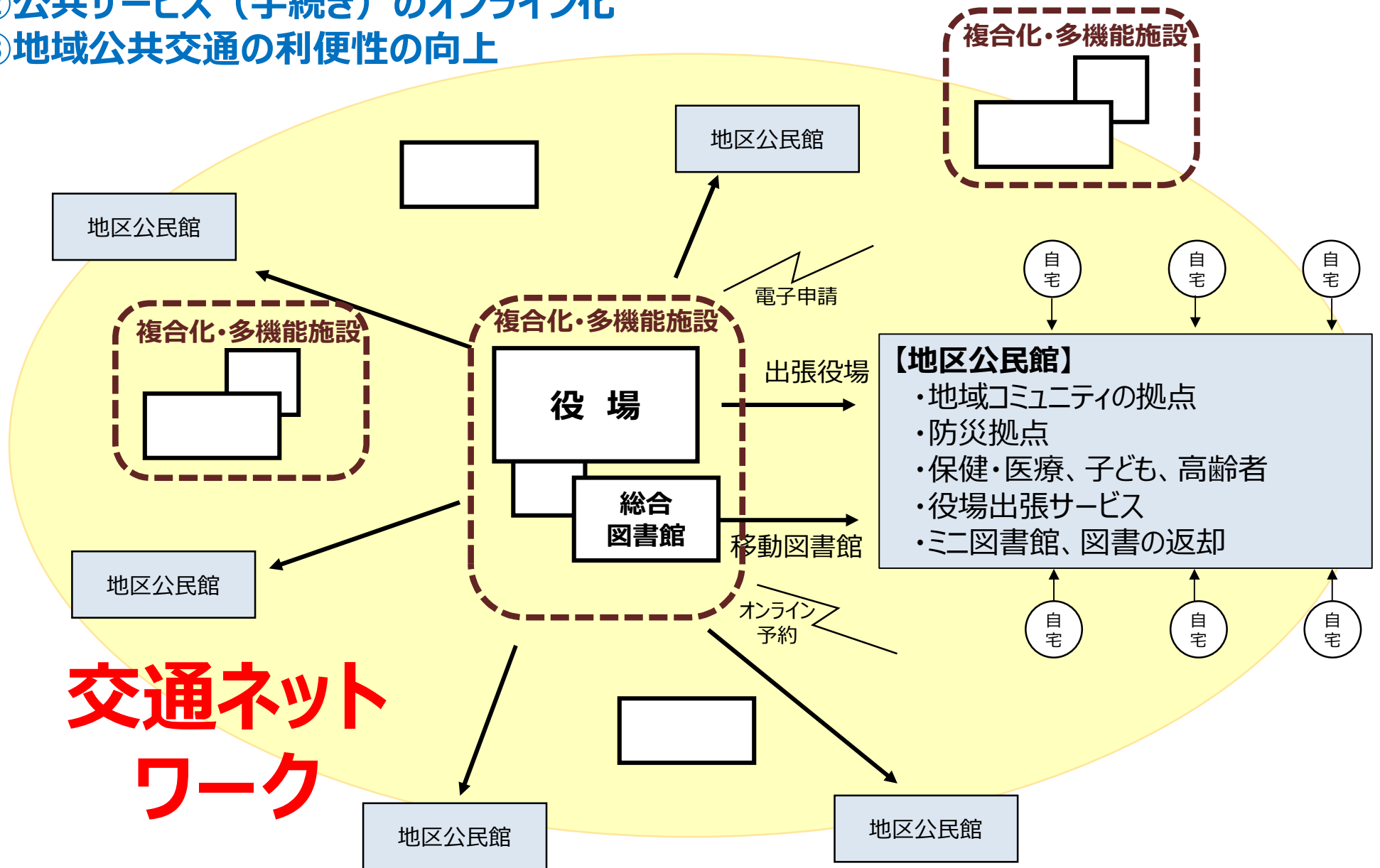
選択肢

- ①新しい庁舎を建てる
- ②既存の庁舎の中で一つに統合し、
しかるべきタイミングで新庁舎に移転
- ③既存庁舎を長寿命化して活かす

第3回会議の主な意見

- ・財政のことを考えると、当面、既存庁舎でいくのが良いのではないか。新庁舎をつくるよりもっと大切なものはある。
- ・3庁舎を残して地域性を生かしたまち作りを展開してはどうか。
- ・分散型は旧3町意識が残る事に気を付けなければならない。
- ・コンビニでの住民票発行はやるかやらないかだけの状況である。
- ・100%オンラインを目指して役場に来ない宣言をしている町もあるなど、ありとあらゆるものがオンラインでもできるようになる。
- ・小学校区程度の単位（例：地区公民館）に「（仮称）まちづくりセンター」を設置し、住民に近いところで相談業務や職員への取次ぎ機能を持たせることでサービスを上げるという方法もある。
- ・新しく庁舎を建て、玉突き方式によって本来維持や耐震に費用を掛けなくていけない施設を旧庁舎に統合することで財源を浮かすことも一案。
- ・最終的にはも財政の問題を無視できないため、財源を一定用意するために時間がかかる。このことの影響も考えておく必要がある。

- ①役場庁舎は一つにし、地区公民館の機能を充実
- ②公共サービス（手続き）のオンライン化
- ③地域公共交通の利便性の向上



※本イメージは、令和3年度に開催した「よさの地域デザイン会議Ⅱ」において出されたご意見のうち、概ね方向性が一致する意見を企画財政課でまとめたものです。

委員長まとめ

- ① 答申で示された合意事項というのは重く、庁舎を統合していくという考え方そのものは重く受けとめなければいけない。庁舎は町にとって一つの象徴でもあり公共施設全体のマネジメントを牽引していく案件である。
- ② 若い人たちにとってもここで働きたいと思えるような職場環境を整える、住民が訪れたいくなる観点も重要
- ③ 既存庁舎の中で一つの庁舎に統合していく、少し時間はかかるかもしれないけれども新築していくという大きな 2 つのアプローチ
- ④ 統合したことによって今までの利便性が失われたり、サービス水準が低下しない努力をしていく（よさの地域デザイン会議で描かれたものに近付けていく）
- ⑤ 草案を作成し、これをたたき台にして住民の意見を聞き決定するプロセス